

町の財政状況

前年予算の二倍

町の昭和四十七年度予算が去る三月の定例議会において議決され、執行に移されておりますが、その概要についてお知らせします。（新年度予算の大綱と主な事業については四月一日発行の広報九十一号を参照してください。）

新年度予算の内容

一般会計

町税は才入予算の十六%住民一人当り一万一千三百三十三円。

昭和四十七年度一般会計予算は、第一表に示すとおり、八億六千百万円で前年当初予算の二倍を示す大型予算となりました。才人面では、町税一億三千七百六十九万一千円の十六%、地方交付税二億二千万円の二十五%、国県支出金一億八千七百八十五万五千円の十二%、そのほかに財産収入一億四千五百三十二万三千円の十七%、町債諸収入等一億七千五百十三万一千円の二十%となっています。このように、町の財政は、町民の皆さんが直接または間接に納める税金と、国県からの交付金や補助金、借入金などで賄っています。このように、町の財政は、町民の皆さん

います。

才出面の主な事業は既に、町長の予算編成方針で明らかにされたように、道路網の整備を主眼に、産業の振興、教

育施設の充実、住民福祉の向上を基調とし、特に町道の舗装、工業団地の推進、大総学校、保育所の防音工事、老人医療費の全額給付を重点として積極的な予算計上がされています。

百六十万三千円で三十二%の増額になっています。これは医療費改訂（十二%アップ）と老人医療費の無料化によるものです。

国保会計

国民健康保険特別会計を才入面でみますと、国保税四千九百十七万五千円で全体の三

有放会計

有線放送電話特別会計予算

老人ホーム特別会計予算については特別な変動はなく経常的な予算編成となっています。尚、老人ホーム改築は本

月額五百円に改めました。

老人ホーム会計

保養センター特別会計は才入出とも六百五十三万五千円です。なお、もっと詳しく知りたい場合は役場へおいで下さい。

保養センター会計

については総額一千六百六十一年度から、山武郡市広域行政組合によって現施設北寄りに建設の予定です。

46年度事業の概要

借りているお金

昭和四十六年度末現在高は三億三千九百六十一万八千円（見込額）になります。このお金は学校建設、道路整備、住宅建設事業などに使われたお金です。うち五千三百五十万円は昭和四十六年度で借り入れたものです。その内訳は道路事業に五百万元、学校建設に一千九百八十万円、公共用地取得事業に一千九百四十万円、住宅建設事業に八

執行された主な事業

- 青年館建設事業（牛熊）二百六十万円
- 農道舗装事業六百七十二万七千円
- 農業改善事業五百四十八万九千円
- 漁港改修事業一千四百七十万円
- 道路整備事業（維持補修）六千三十二万六千円
- 住宅建設事業二千一百三十七万九千円
- 小学校建設事業（上塙小）四千九百五万一千円
- 消防施設整備事業二百九万七千円